

日本の悲劇 (1953)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 116分

初公開日 1953/06/17

【解説】

春子は熱海の旅館で女中として働いている。戦争で夫を失った春子は、二人の子供を育てるため、男に身をゆだねる商売にまで身を落としたこともあった。二人の子供の成長だけが彼女の生き甲斐だったが、二人は彼女の過去の商売に反発し、母に反抗的な態度を取る。医大を卒業した息子は東京にいる医者の婿養子になると家を出た。娘は妻子ある英語教師と駆け落ちをしてしまう。娘のことを相談しようと東京へ行った春子だったが、息子は相談に乗るどころか、彼女のことを冷たくあしらう。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 小出孝

桑田良太郎

脚本 木下恵介

撮影 楠田浩之

音楽 木下忠司

出演 望月優子

桂木洋子

田浦正巳

上原謙

高杉早苗

高橋貞二

佐田啓二

北林谷栄